

【22_081/技術系メルマガ】『①波』か『そうじゃない』かの見極め

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

僕がエントリー時のセットアップに使っている『③波理論』ですが

最近よく貰う質問について、今日のメールで改めてお答えしようと思います。

まず、「公開資料があるか？」とのことですが、分かりづらくてすみません。

元々この考えは、サロン(omukuroファーム)での活動を通じて体系化したもので

サロン内のライブラリに資料をまとめて置いてあります。

公開用資料のPDFも同じ場所に置いてますので、良ければ以下のリンクからチェックしてください。

▼③波理論について(omukuroファーム)▼

<https://lounge.dmm.com/detail/2481/content/12050/>

そして、今日のメルマガのメインディッシュ。2つ目の質問を深掘りしようと思います。

┌
└■ ①波が上手く探せないんですが・・・
└──────────────────┘

はい、これです。

「①波目を何処で見たら良いのか?」「ほんとに今自分が見てるのは①波目なのか?」

というところをつまづいてしまう人が多いようで、この質問は毎日のように届きます。

確実に『これが①波だ』と事前に断定する手段はありません。

僕が実際にトレードを検討する際には

自分が『①波』を認識した時に想定が崩れた場合のロスカット位置を決める。
(最初にやるのはこの作業です)

そして、ロスカット幅と想定する利確目標までの距離から リスクリワードバランス を見て

そこでトレードするかを『決める』。

結局、いつも言っている事になりますが

前もって自分のイメージ通りの値動きをするかは分析しても分からない(=先の値動きは予知できない)のです。

ですから前もって 長期環境の目線 と同じ方向にセットアップの形が見込めるチャートパターンを認識し

▼(参考)僕の固定ツイート: エントリーセットアップの波形 ▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1485137492634447874?s=20&t=qYA-a1kmNBsMW_s4ZpFiKg

損切り位置を決めたうえで(≡ココが大事)エントリーを決める。

そして、前もって決めた通りに利確・損切りをする。

この一連の作業を、Twitterで表現出来る範囲の中でのなるべく明確に実演しています。

なお、「どうしても1つ、“基準” が欲しい！！」という人にやって欲しいのは

～～

『M15足』を基準として、『収縮したMA』を大きく抜ける動きを①波と認識し

収縮したMAにプルバックした場所でエントリーする

～～

まずはこの綺麗な動きが出ている場所を集中的に探してみてください。

僕が最近やったトレードだと、この形が一番イメージに近いです。

▼3月9日 GBPAUD(S)▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1501473847929114628?s=20&t=EK2ImzgppNxvpmYu0XhrBQ>

どんなトレードをするにも僕が大事だと思っているのは

十分な検証とフォワードテスト(デモトレードでも可)を重ねたうえで

自分が全幅の信頼を置けるエントリーの形を作り、資金・リスク管理までをルール化した『型』に沿って

同じトレードを繰り返し行う事。

そして最終的に、1回毎のトレード結果に一喜一憂することなく、100回、1000回と試行回数を重ね

トータルの収支がプラスになる状態を作れば、自然とパフォーマンスも安定していきます。

まずは取っ掛かりとなる一つの方法を決めて、いつも同じ認識が出来るように訓練してみてくださいね。